

平成19年度 第3回 府中市男女共同参画推進懇談会
議 事 録

1 日 時 平成19年9月20日(金) 午後7時～9時

2 場 所 女性センター 第1会議室

3 出 席

(1) 委員

小西(厚)委員長、打林委員、北川委員、五座委員、後藤委員、小西(さ)委員、
島野委員、村野委員、矢島委員、吉田委員

(2) 事務局

川田市民活動支援課長、松井男女共同参画推進係長、江内田事務職員

4 傍聴者 なし

5 会議内容

(1) 開会

(2) 前回議事録の確認

承認

(3) 報告事項

諸橋副委員長、平井委員から欠席の連絡あり。

(4) 配布資料確認

資料1 府中市における女性の視点でとらえた防災対策(案)

防災9 内閣府 男女共同参画基本計画に関する専門調査会資料

防災10 府中市 防災ハンドブック

防災11 府中市 地震避難マップ

防災12 警視庁 震災発生時の交通規制を知っていますか

防災13 (社)東京都消防協会 消防団員募集パンフレット

*1 後藤委員より配布案内

「東京都中小企業両立支援推進助成金」チラシ

※ 防災に関連する資料は今後の会議でも継続活用するので、資料の混在を防ぐため、防災に関する資料として通し番号を使用することとしている。

※ *1の詳細については、1千社の利用を目標としているとのこと。育児休暇をとりたい人が適切に取得できるように、男性の場合は1ヶ月以上、女性の場合は1年以上の育児休暇取得で助成金を支給するなどの対策をしている。

(5) 協議事項

① 新たな取組を必要とする防災分野における男女共同参画の推進について

当日配布された資料をもとに、各委員で意見を出し合った。

資料1は、五座委員の案をもとに事務局で作成したものである。各柱立てについては資料1を元に検討する。主な意見について以下に記述する。

- ・ 打林委員が、中越地震の際に現地に派遣されて5泊6日滞在していたが、その時の感想等について。
 - ① コミュニティの規模が小さく、自治会の指揮命令系統がしっかりしていたため、感染症の対策等も問題がなく、震災後の対応としては迅速にできていたように思える。
 - ② 震災後、時間が経っていたこともあり、体育館などは既に若者が退去したあとであった。授乳や着替えなどは、テントなどで対応していたようである。
 - ③ 課題としては、避難所に一緒にいることになる、高齢者・若者・乳幼児の共存をどのように図るか、ということではないか。
- ・ 矢島委員が、7月26日に開催された府中市の防災会議に出席した際の感想等について。
 - ① 出席者は、市長をはじめとして、市の部長クラスや企業の代表者等であり、総勢でおよそ30人くらいだったが、全員男性であり、女性が1人もいなかった。
 - ② 検討事項は、初動7日のマニュアルづくりが主なようであった。
 - ③ 議事録があれば、今後の参考になるため、可能であれば議事録を確認したい。
→事務局で確認することとした。
- ・ 震災の議論については、ある程度分野を絞って話をする必要があるのではないか。
- ・ 防災分野について、あまり知識のない状態では、提言等はそもそも難しいのではないだろうか。
- ・ これまで国や各自治体等は、防災対策は十分に行えていると考えていたが、実際に震災が起こったら、その対策が不十分であることが浮き彫りとなり、色々な想定外の問題点が出てきた。これらの問題点は、なぜ生じたのか、その根底には女性の視点が足りなかったからではないか等について話し合うことが求められていると思われるので、その意味では、必ずしも専門的な知識がないと議論ができないというわけではないのではないか。
- ・ 普段の体制と、非常時の体制は自ずと異なるので、それぞれの場合における対応事例について知れば、なにかしらの提言ができるのではないか。
- ・ 非常時には、いろんな事が起こるので、それらを時系列などで順序立てて、それぞれの場面における対策などを考えていくのも良いのではないか。
- ・ 答申については、どのような対応をとる予定なのかを確認したい。

(6) その他

- ① 資料1を元に柱立てについて、各委員より意見を寄せ合うこととした。
方法はメール・FAXなどを利用して、11月1日（木）までに事務局へ提出すること。（次回会議では、それらを元に検討したい。）

② 次回の会議日程について

日時：平成19年11月8日（木）午後7時～

場所：女性センター 第1会議室

(7) 閉会